重仮設用締結金具

リキマン

業界一強く、緩みにくい

PAT. No. 2567803

生産物賠償責任保険加入商品

リキマン 金具

- G型　　挟み幅　５０㎜
- GⅡ型　挟み幅　６０㎜
- GⅢ型　アングルブレスL-７５等取付け用
- GS-４０型　挟み幅　４０㎜

許容耐力（t）

	短　期	長　期
G 型	13.5	9.0

P型

支持杭（H型鋼）のフランジに取付け、大引き材や水平つなぎ材を接合する水平面を得る為に使用。

許容耐力（t）

	短　期	長　期
P 型	11.0	7.5

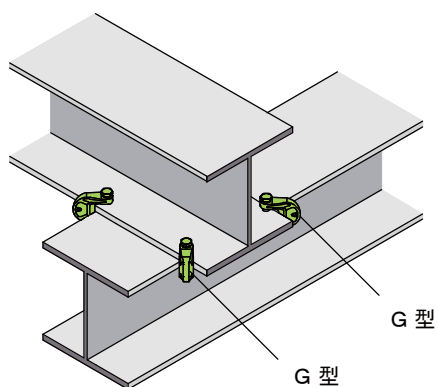
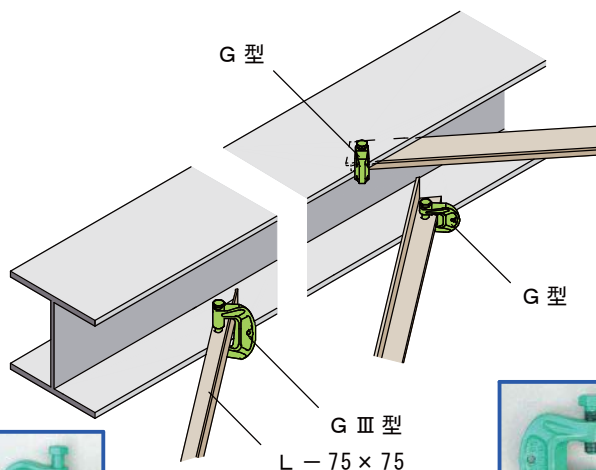
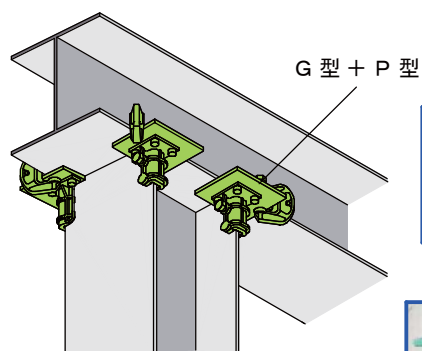
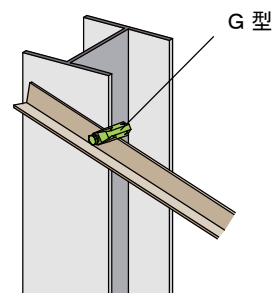
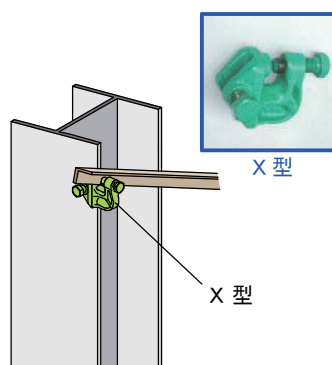
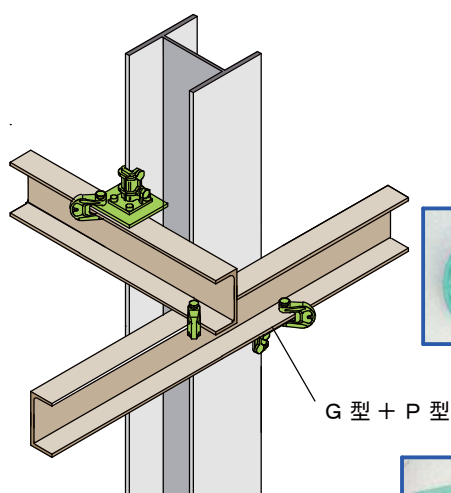
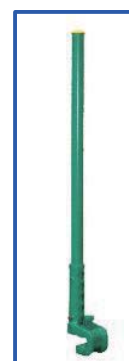
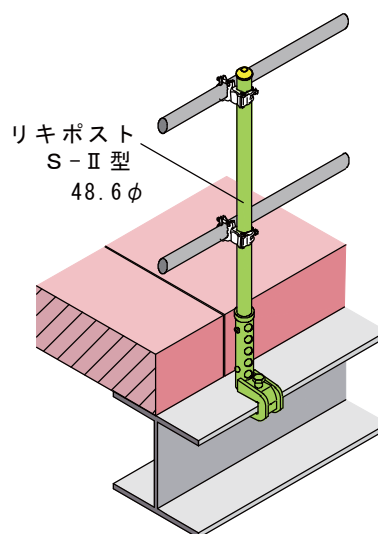
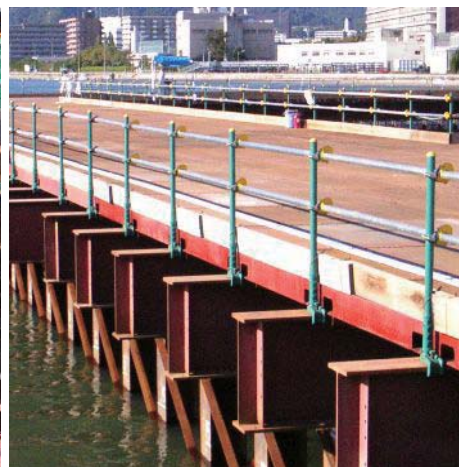
X型

支持杭（H型鋼）のフランジに取付け、ウェブ方向の斜材（アングルブレス）を固定する為に使用。

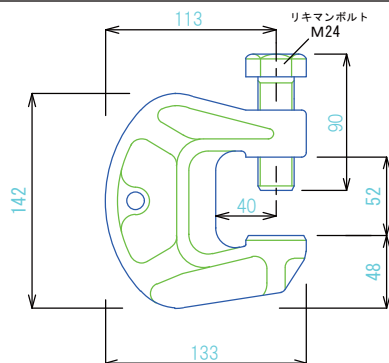
許容耐力（t）

	短　期	長　期
X 型	14.5	9.5

各種金具の詳細は、別頁を参照。

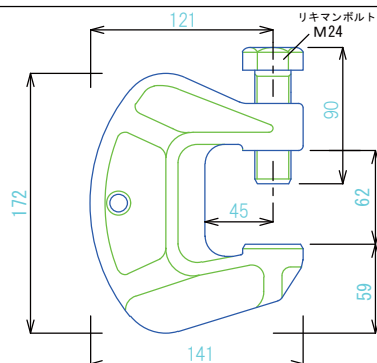
リキマン

G 型
G 型
G型
大引き × 根太
G 型
G 型
G Ⅲ 型
L ― 75×75
G型
G Ⅲ型
大引き × 水平ブレス
G 型＋P 型
G型
P型
支持杭 × 大引き
X型
X 型
G 型
支持杭 × 垂直ブレス
G型
G 型＋P 型
P型
支持杭 × 水平つなぎ
リキポスト
S－Ⅱ 型
48.6φ
リキポスト
S－Ⅱ型
手摺支柱

リキマン

リキマン

G 型

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
15～50	2.7	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
13.5	11.0	9.0

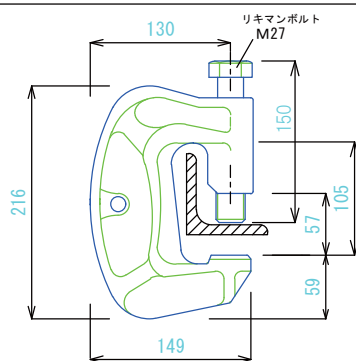
2 枚重ね合わせた鋼材の接合に使用。
標準タイプ。

（ 締付けトルク　300 N･m ）

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
30～60	3.1	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
14.0	11.5	9.0

G 型の幅拡タイプ。最大挟み幅60mm 。

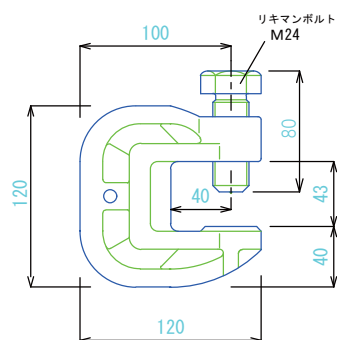
（ 締付けトルク　300 N･m ）

G Ⅲ 型

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
15～55	5.1	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
16.0	13.0	10.0

垂直ブレス等　L -7 5 ×7 5 (Max)をH 型鋼のフランジ面に接合する為に使用。

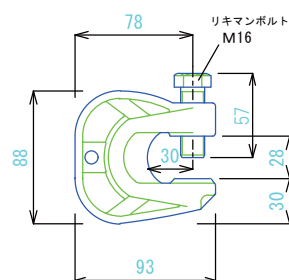
（ 締付けトルク　300 N･m ）

GS-40型

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
13～40	2.1	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
9.0	7.5	6.0

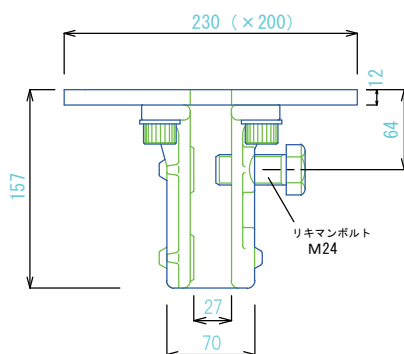
荷置構台、支保工 桁 × 桁受 等 最大挟み幅40mm迄の使用。

（ 締付けトルク　300 N･m ）

GS-25型

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
6～25	0.9	21

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
6.0	5.0	4.0

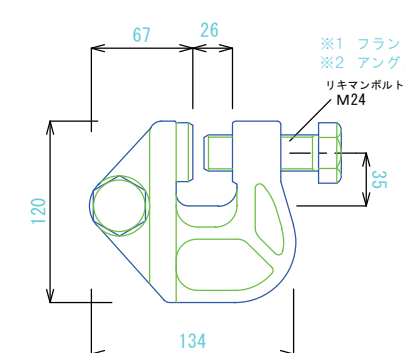
小型軽量。狭小箇所、薄板の取付け等、最大挟み幅25mm 。ラチェットレンチで締付け可能。（ 締付けトルク　150 N･m程度 ）

P 型

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
5～27	8.0	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
11.0	9.0	7.5

支持杭のフランジに取付け、大引き材や水平つなぎ材を接合する水平面を得る為に使用。 （締付けトルク 300 N·m）

X 型

※1 フランジ側
※2 アングル側

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
1～25, 1～26 ※1 ※2	3.6	36

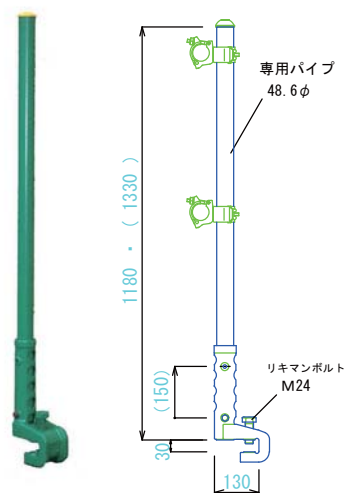
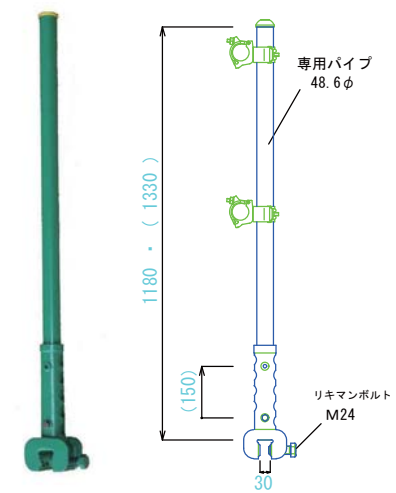
許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
14.5	12.0	9.5

支持杭のフランジに取付け、ウェブ方向のアングルブレスを固定する為に使用。
（締付けトルク 300 N·m）

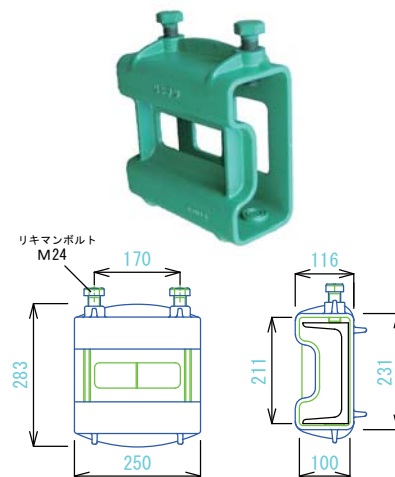
リキポスト

挟み幅(mm)	重量(kg)	ボルト対辺(mm)
5～30	9.7	36

パイプクランプ別途

S－Ⅱ型　　H－1 型

根太等のH型鋼フランジへ取付け。
（締付けトルク 200 N·m程度）

鋼矢板の頂部、山留腹起等へ縦方向に取付け。（締付けトルク 200 N·m程度）

リキボックス

重量(kg)	ボルト対辺(mm)
11.8	36

水平つなぎ材(C-200×90)の中間接続に使用。

リキマン金具の取付けは、専用のトルクレンチをご使用下さい。

※ GS-25型，リキポストはラチェットレンチ等を使用して下さい。

単能型トルクレンチ

プレセット型トルクレンチ

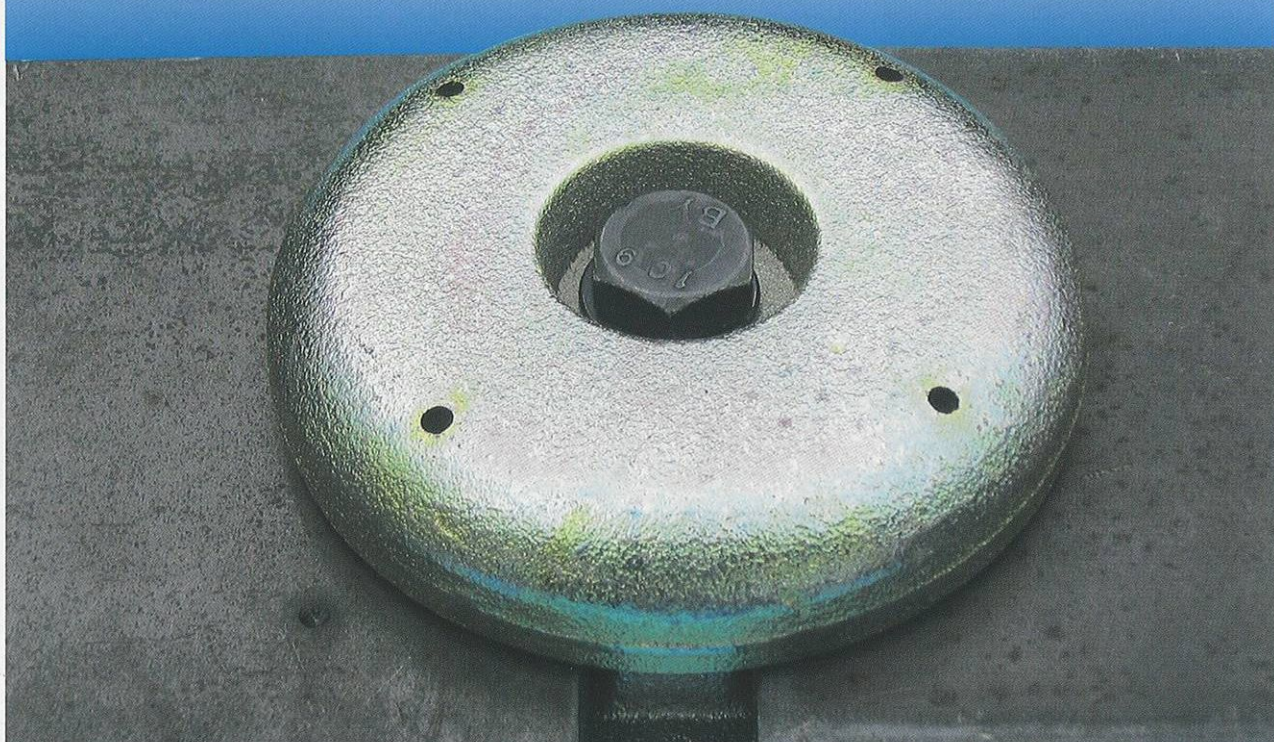
設定トルク（±3%）	300 N·m
六角対辺	36 mm

トルクレンチを正しくお使い頂くために、必ず取扱説明書をお読み下さい。

建設現場用敷鉄板堅結安全金具

安全・簡単・溶接不要

LINK PLATE

リンクプレート

国土交通省「NETIS」登録番号:KT-060068-V

建設業労働災害防止協会推薦品

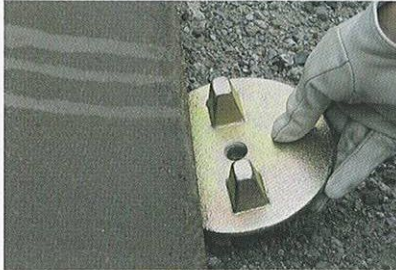
労働安全衛生規則164条3の3
労働保護の項をクリアーした商品

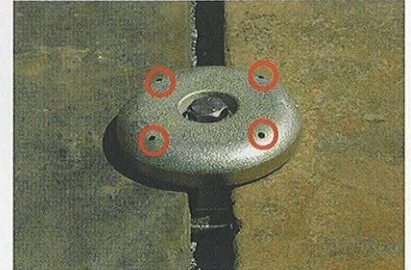
特許　第3422950号

http://www.nissin-kenki.co.jp

LINK PLATE

リンクプレートは、
現場での重車両通行のための鉄板を敷く作業に伴う溶接工事を必要としません。
敷鉄板を確実に固定し、従来のような
溶接部分の切断による敷鉄板のバタツキから起こる重大事故の発生を防ぎます。
安全で取り付け簡単、鉄板返却時の修復費も不要となります。

取付け手順

1.リンクプレート下部を敷鉄板に挿入します。

2.2枚目の敷鉄板を敷設してください。

3.各々の敷鉄板にピンが2個ずつ噛んでいるか必ず確認してください。

4.センターボルトの締め付けを行います。

5.ハンマーでピンの穴部を強く叩きピンをより深く食い込ませてください。

6.再度センターボルトの本締めを行います。

取り付け完了

〔表面〕

〔裏面〕

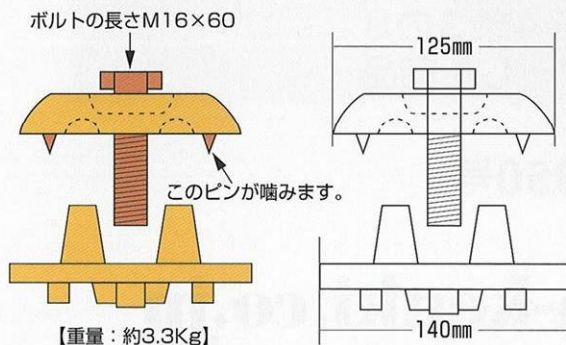
〔ピン〕

ボルトの長さM16×60

このピンが噛みます。

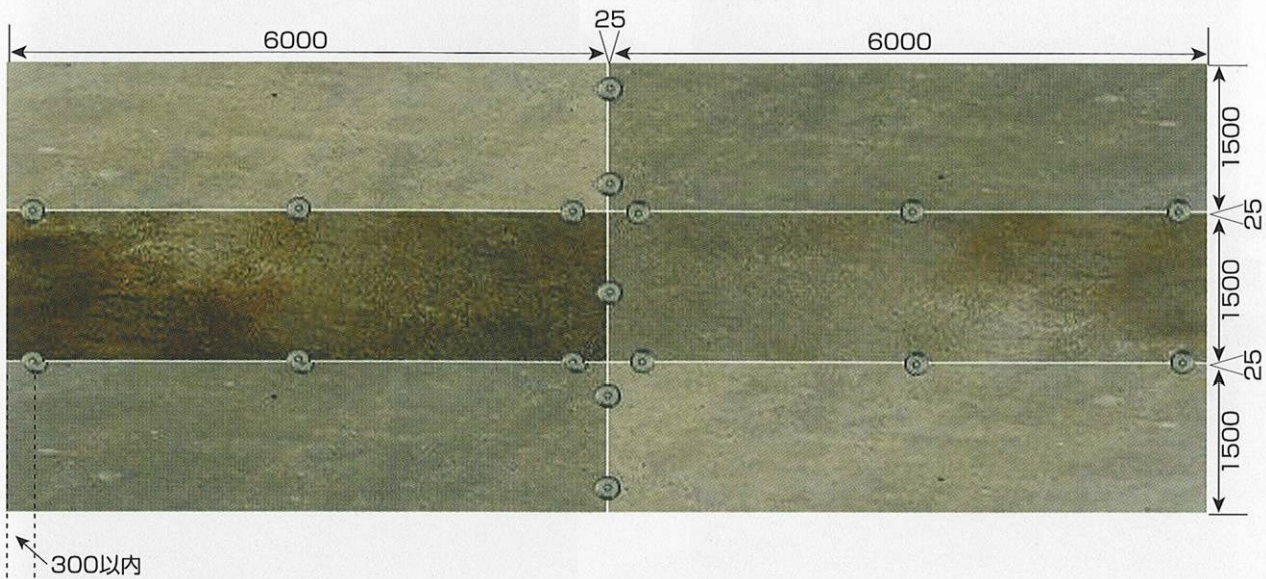
【重量：約3.3Kg】

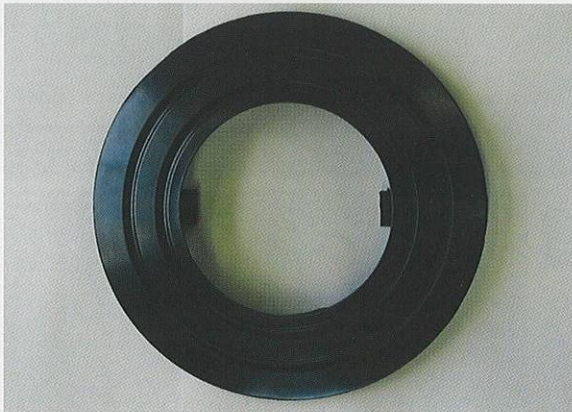
125㎜

140㎜

注意事項

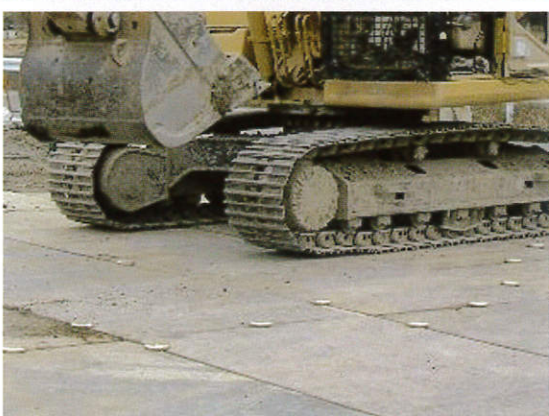
1. 敷鉄板の厚さは19～25㎜でご使用下さい。
2. 必要工具としてラチェットレンチ24㎜・バール(大)をご用意下さい。（インパクトレンチ1/2　100V）
3. 過度の締め付けは、金属疲労を起こす可能性があるためご遠慮下さい。
4. 使用目的以外には使用しないでください。
5. 作業現場以外では使用しないでください。

《取り付け注意事項》

【5尺×20尺の場合】 必要個数の計算は鉄板枚数×3.2～3.5個

20尺側には、両端部から300㎜以内に、1ヶずつ真ん中に1ヶ合計3ヶ取り付けて下さい。
端部から300㎜以上離すと敷鉄板がばたつきボルトがゆるみやすくなります。
5尺側に連結する場合1ヶ取り付けます。(スロープや力のかかる場所には、2ヶ取り付けて下さい)

【LPキャップ1型】 安全通路歩行者用（つまずき防止対策品）

取付けポイント

* 取付けにはインパクトレンチ（100V）での締め付けをおすすめします。
  敷鉄板を水平に固定させるにはラチェットレンチでは困難と思われます。インパクトレンチをご使用いただくと段差の解消と共に取付け時間の短縮になります。
* ハンマーで叩く作業をお願いします。
  より深くピンを食い込ませることにより敷鉄板のバタツキ・横ズレを完全に解消します。
* 定期的にボルトの点検(増締め)を必ずおこなって下さい、鉄板と鉄板が開きやすくなりボルト・ピンの破損原因になります。

取り付け例

安全製品ですので類似品にご注意下さい。

株式会社 リキマン

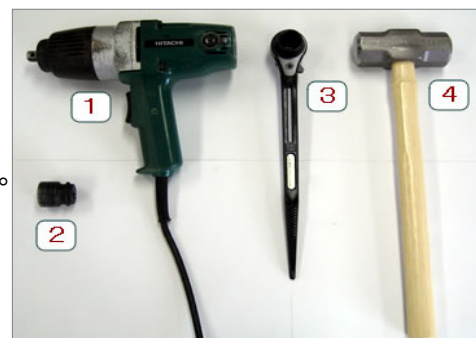
本　　社　福岡県粕屋郡須恵町大字植木2047番地148号
〒811-2112　TEL(092) 937-3476(代)　FAX(092) 937-3484
http://www.rikiman.com

東京支店
〒140-0014　東京都品川区大井1丁目45-1 ヒビノビル1F
TEL(03) 5718-8321　FAX(03) 5718-8322

中国事務所
〒739-1742　広島県広島市安佐北区亀崎2丁目1番75-502
TEL(082) 841-1415　FAX(082) 841-1416

リンクプレート「現場用マニュアル」

■ 準備する工具

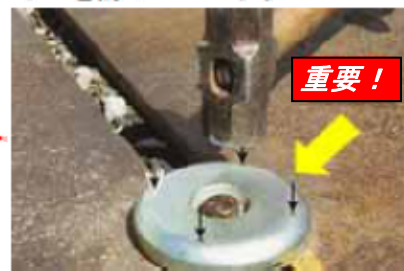
・①インパクトレンチ・・・差込角1/2(12.7mm)100Vとこれに必要な電力
[注]充電式は電力消費量が大きいのでお控えください
・②ソケット・・・ボルト6角対辺24mm
[注]差込角3/4(19.0mm)は使用できません。
・③ラチェットスパナ・・・最初の仮締めでインパクトは使用しないでください。
・④セットハンマー・・・大きいほど有効です。
[注]必ず4つのピン上部を叩きこんでください。
・⑤バール・・・大きいほど有効です。鉄板の位置微調整で使用します。

■ 取付手順

1. 下プレートを敷鉄板に挿入します。このとき、山形の突起を鉄板に確実にあてがって下さい。

2. 2枚目の敷鉄板を敷設してください。このときも山形の突起を鉄板に確実にあてがって下さい。

3. 上プレートをかぶせて、ボルトを締めます。最初は必ず手締めして下さい。ボルトがネジ山に斜めに入るのを防ぐためです。

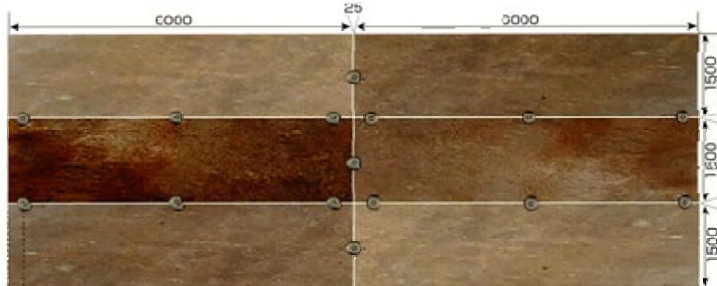
4. 各々の敷鉄板にピンが2個ずつ噛んでいるか必ず確認して下さい。

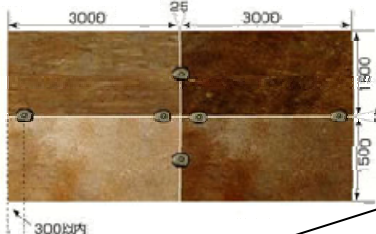
5. センターボルトをインパクトを使って 締め付けを行います。

6. セットハンマーでピンの穴部を強くたたきピンをより深く食い込ませてください。この作業を怠るとボルトが緩み、事故の原因となります。

7. 再度センターボルトの本締めをラチェットレンチで行います。

8. 取り付け完了です。お疲れ様でした。どうぞご安全に！

9. ボルトに緩みや破損がないか定期的に点検を行ってください。

■ 取付位置　　5尺×20尺の場合

300以内に取り付けて下さい　重要！

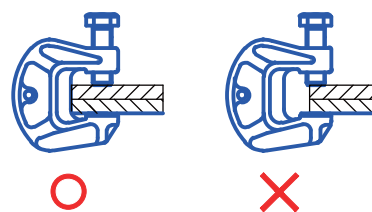
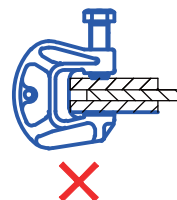
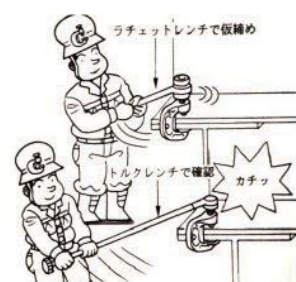
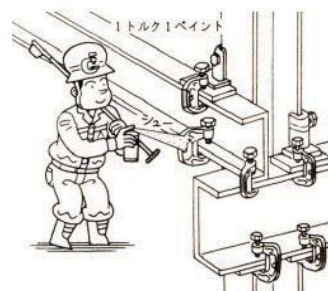
5尺×10尺の場合

解体時、下プレートの取り忘れに注意！　ボルトは売切です
上・下プレートがセットで戻らない場合滅失扱いとなります。

リキマン

金具使用上の注意

図−1

図−2

- ◯ 金具の取付け面、鋼材の重ね合せ面に異物がないかを確認して下さい。
  コンクリート、土、砂、極端な錆等を除去して取付けて下さい。
- ◯ 鋼材の先端が、金具の奥に接するよう取付けて下さい。（図−１）
  端掛けの状態では、所定の耐力が得られません。また、金具の損傷、落下の原因となります。
- ◯ 鋼材を３枚以上重ねて使用しないで下さい。鋼板が滑り、金具ががが外れます。（図−２）
- ◯ ラチェットレンチ（３６mm）で仮締め後、専用トルクレンチ（300N･m又は3000kgf･cm）で本締めを行って下さい。（図−３）
  ※GS−25型（150N･m程度）、リキポスト（200N･m程度）
- ◯ 1個の金具を本締めする毎に、その都度カラースプレー等でマーキングをして、本締め忘れを防止して下さい。（図−４）
- ◯ 盛替え時も必ず、専用トルクレンチでトルクを掛け、色を替えたカラースプレー等で再度マーキングして下さい。
- ◯ 残った金具や取外した金具は、鋼材の上等に置き忘れのないよう注意して下さい。振動等で落下することがあり、非常に危険です。

図−3

図−4

禁止事項

- 鋼材の吊上げ等、本来の目的以外には使用しないで下さい。
- 鋼材の一方を固定し、他方を吊上げる等の天秤吊り作業はしないで下さい。金具が破損するおそれがあります。（図−５）
- 金具本体・ボルトへの溶接、溶断等の加熱・加工や金具付近での溶接・溶断等の高熱発生作業は絶対行わないで下さい。（図−６）
- 専用のリキマンボルトを他のボルトに替えて使用しないで下さい。
- 高サイクル振動が直接加わる場所での使用は避けて下さい。
- 金具の取付け後、位置、向きを直すためにハンマー等で衝撃を与えないで下さい。金具本体やボルト先端が破損し、金具が外れるおそれがあります。

※ 上記作業等を行った金具の使用は絶対に避けて下さい。

×

図−5

×

図−6

ご不明な点は、弊社までお問合せください。